



# なのはな通信

25年度 六ツ美中部小学校

校長室だより No. 15

平成 26 年 1 月 31 日

二〇一四年 第三学期始業式 一月七日(火)

今日から、三学期がスタートしました。そこで、夢について話をします。私は、小学校一年生のころ、月にはウサギがいると信じていました。今だったら笑われてしまいます。六年生のころの作文には、「パイロットになって、地球を空から見てみたい。」と書いた記憶があります。今では、地球の裏側のことで、ほとんど時差もなくニュース等で画像が流れます。さらに、国際宇宙ステーションには日本人宇宙飛行士の若田光一さんが滞在し、宇宙で新しい年を迎えました。私の子どもたちからすると夢のようなことですが、今を生きる皆さんには宇宙旅行は実現可能となるでしょう。

今から五十年ほど前に、日本人が夢見た科学技術の世界をふりかえります。昭和三十五年に当時の科学技術庁から出された本のなかには、原子力のことや、医療、宇宙、気象、地震、交通、住まいの環境などについて未来を予想して、次のようなことが書かれていました。「自動改札機、日本語を入れると英語にしてくれる電子翻訳機、ポケットに入る電話、電子レンジが発明されます。また、室温を一定にプログラムできるエアコンや一定の温度で保たれるシャワーの水などが使えるようになります。」これはその一部ですが、今では当たり前無くしてはならない物ばかりです。五十年前に予想した一三五項目中、その四割に当たる五四項目が実現されました。漫画のような世界が次々に実現されていることを思うと、この先どのような時代が訪れるのでしょうか。先々のことを想像してしまいます。今や、リニアモーターカーが現実になりました。

科学技術だけではどうにもならない問題もたくさんありますが、人間は努力する限り不可能を可能にすることができると、信じています。皆さんにも、五十年前の人々が「夢」をもって科学技術や最先端の技術を開発しようと努力してきたことを知り、その精神を受け継いで欲しいと思います。

六ツ美中部小学校の皆さんも、ESDのことを勉強してきました。五十年後の六ツ美中部学区のことや日本や世界の姿を予想して、「こんな暮らしができたらいいな」という夢を、文章や絵に描いて、学級で話し合ってみてください。

夢のために努力することは、今日からでもできます。そのためには、3学期の目標は、「自分の力を磨く」。「人間力」を高めることです。家づくりでいえば、仕上げです。それぞれの学年に進級したり、卒業したりすることができるようになることに一生懸命に、仕上げとしての学期を過ごしましょう。

## 第四十二回新春竹馬大会

一月十二日(日)



今年も蜂須賀勝美様が中部小の子供達のために、竹馬を作ってくれました。その竹馬を使って、多くの子供達が子供会の竹馬大会に向けての練習をしていました。昔から伝わる遊びですが、親子で力を合わせて走る姿には、元気をもらいました。